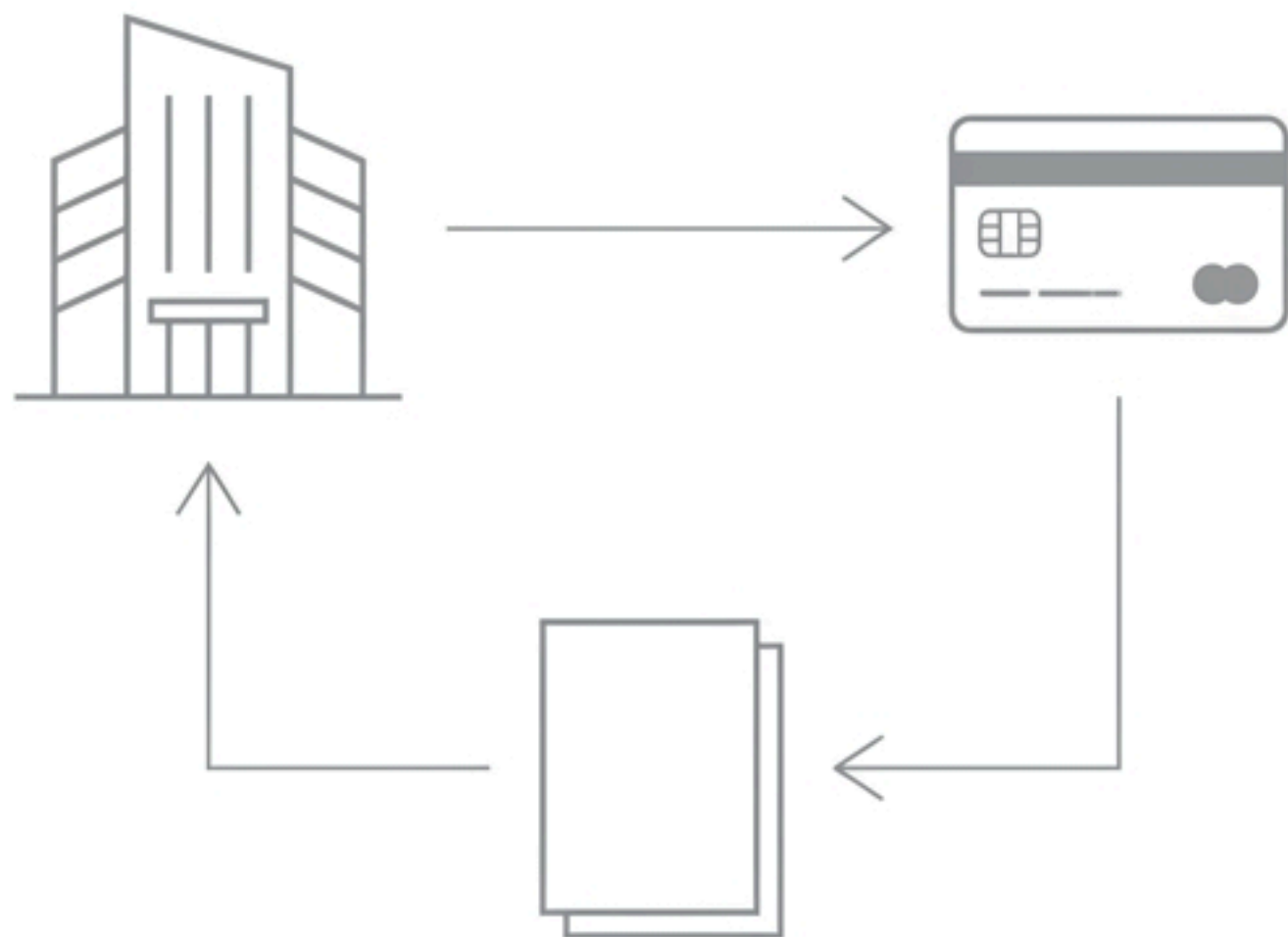
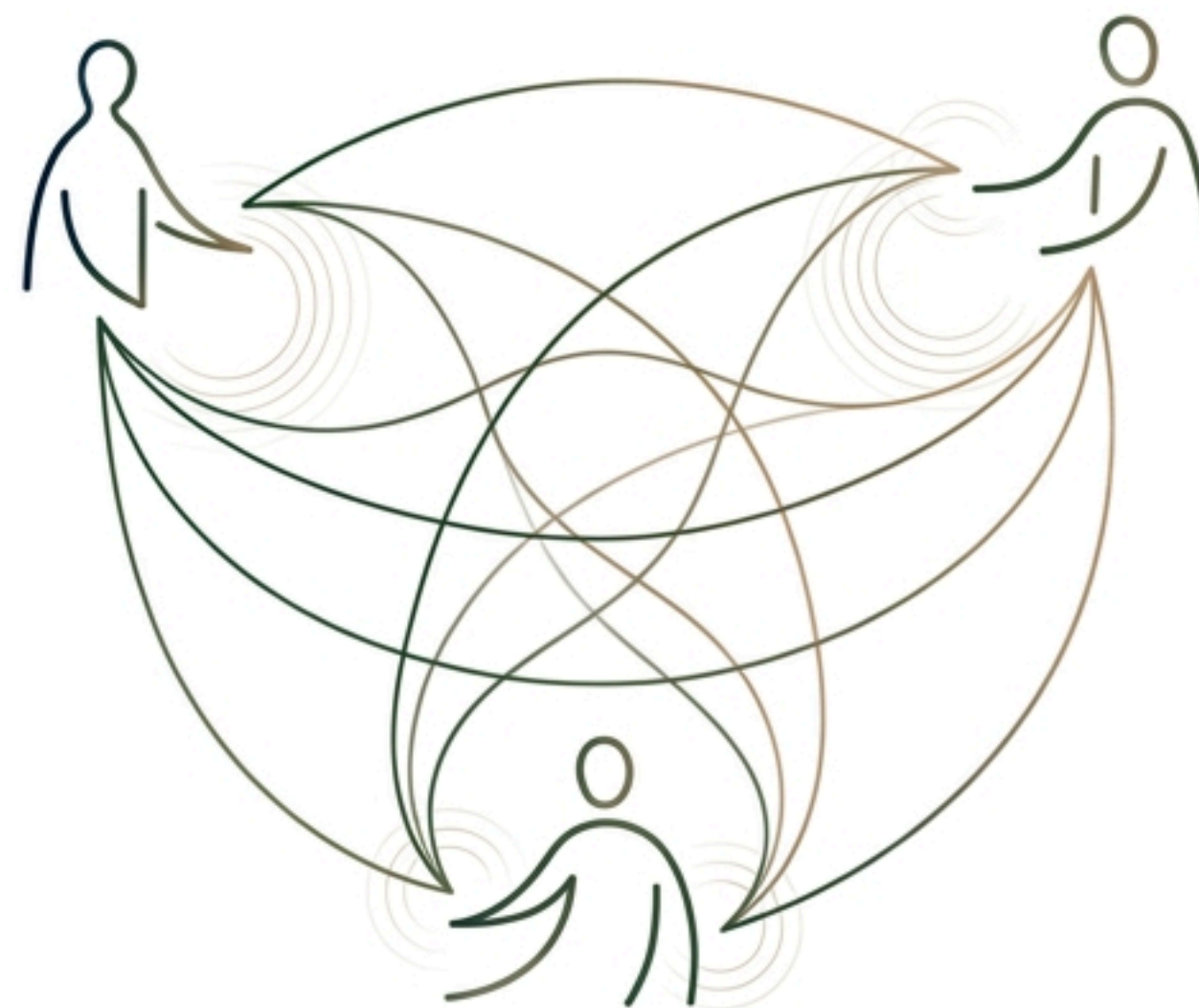


無尽、頼母子講、模合。
失われた「信用の金融」をひもとく。

現代の金融は「契約」で回る。

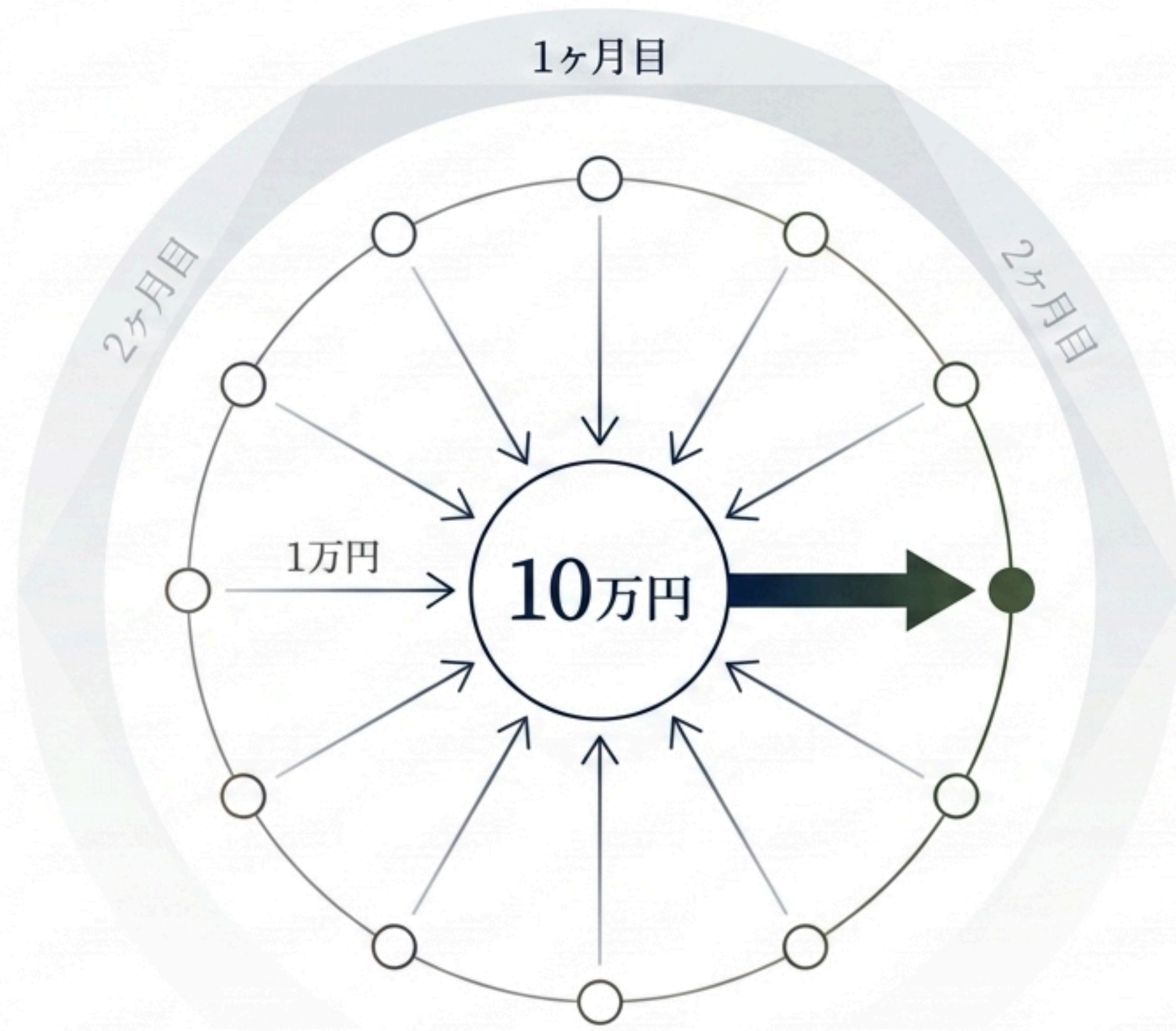


昔の金融は「人間」で回っていた。





呼び名は違えど、本質は一つ。
「みんなで出し合い、必要な人が先に使う」



未来のお金を、みんなで前借りし合う。

昔のお金は、「人間関係の縮図」だった。

頼母子講



病気

感謝



結婚

義理



商売

恩返し

かま



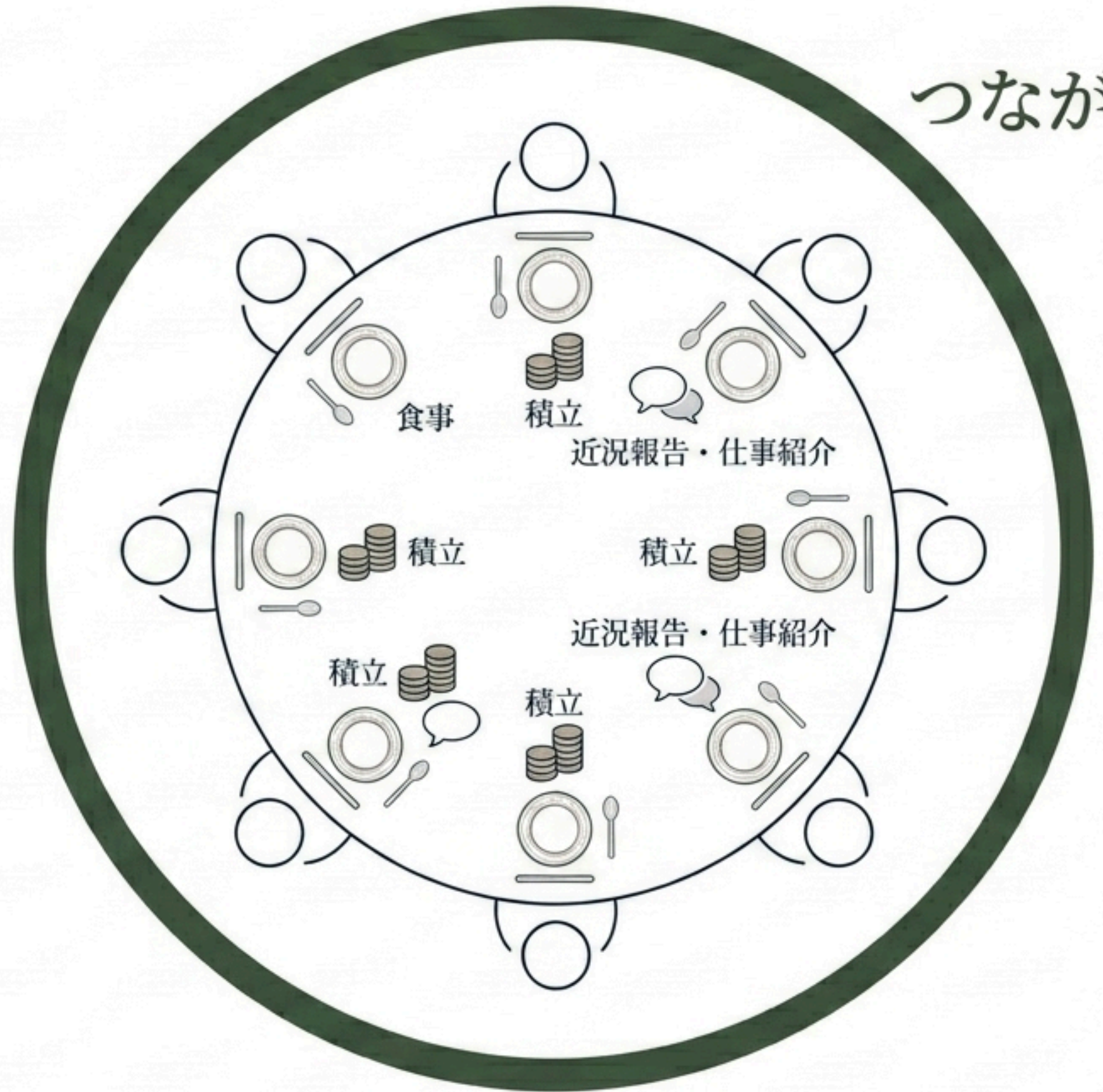
家屋

お金の代わりに、
「物」を持ち寄る物品無尽。



金融であり、
コミュニティであり、
情報交換の場。

つながり



私たちの日常にも、無尽の思想は息づいている。

現代のサービス

無尽の要素

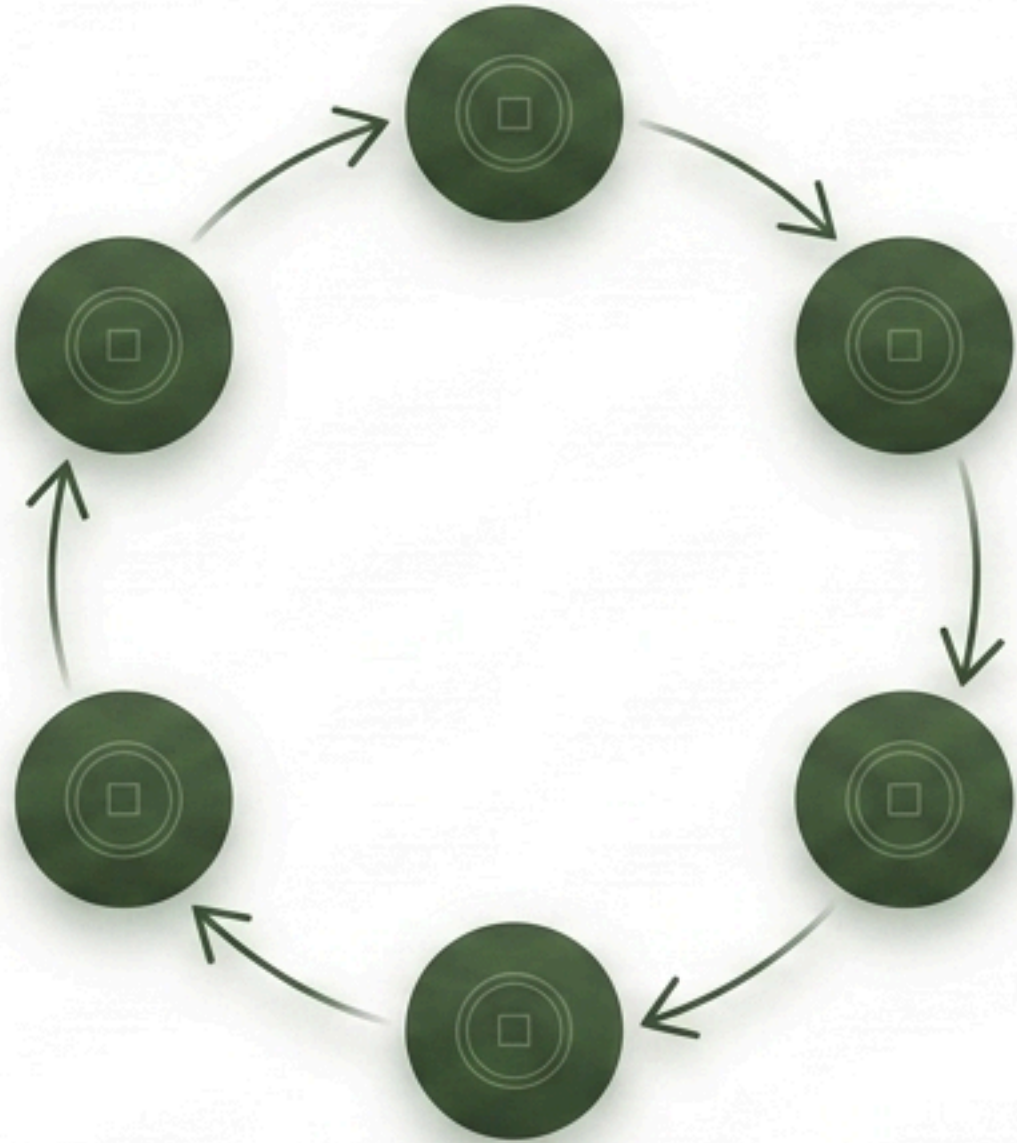
クラウドファンディング = 必要な人に先に集める

サブスクリプション = 定額で順番に恩恵を受ける

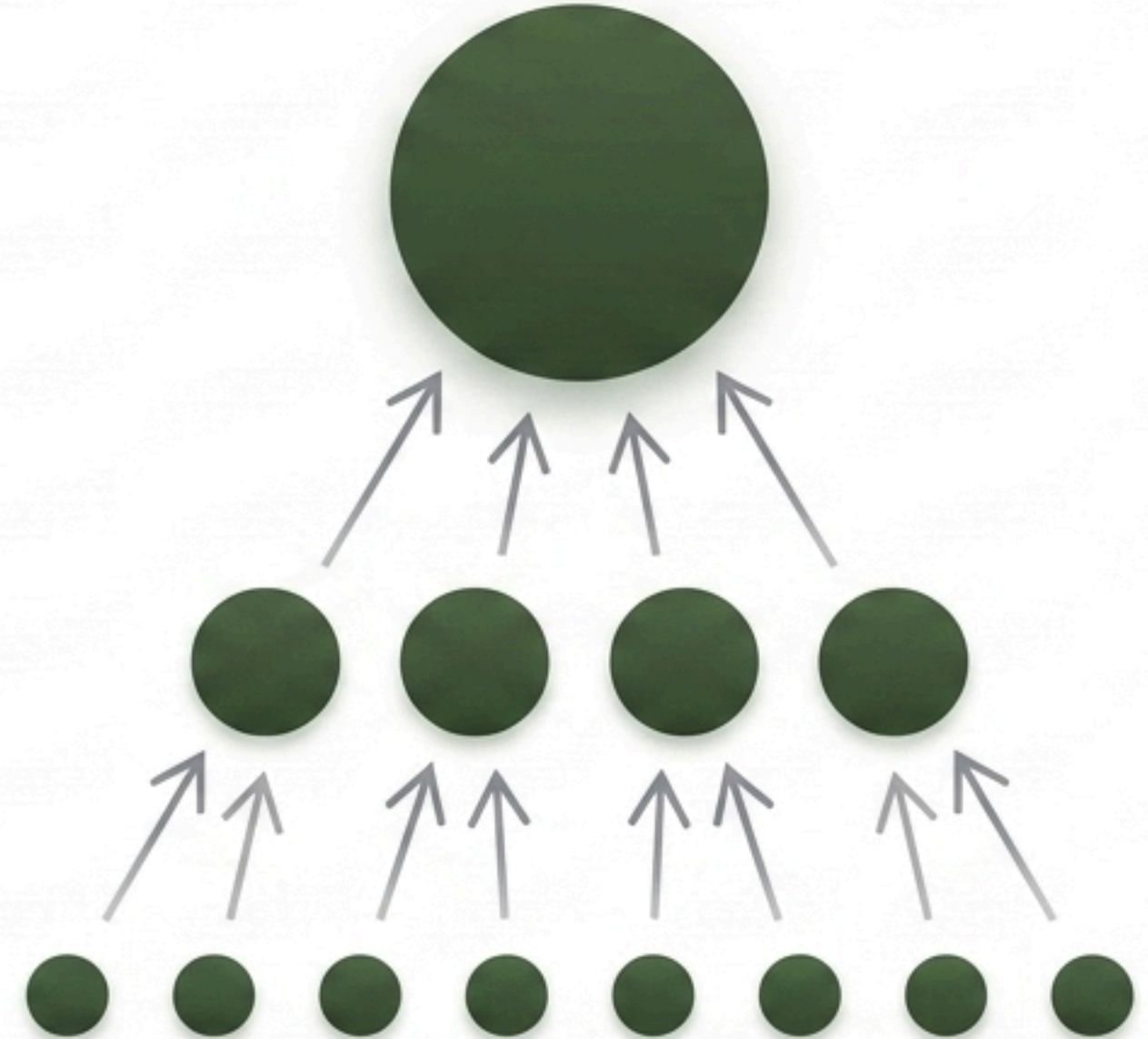
友達との旅行積立 = コミュニティでの共同貯金

「助け合い」の循環と、「搾取」のピラミッド。

無尽



ネズミ講





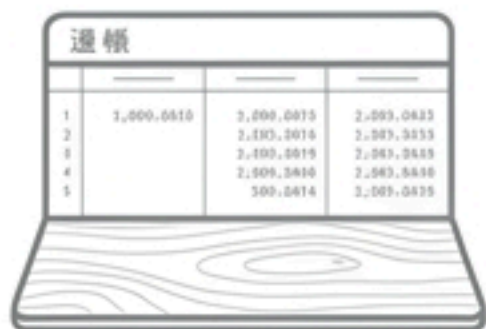
担保も審査もいらない。
必要なのは「逃げない」という信用だけ。



銀行も保険もない時代。
昔のお金とは、信用そのものだった。

最後に価値を持つのは、
通帳の残高か、信用残高か。

通帳の残高



通帳			
1	1,000,000	1,000,000	2,000,000
2		1,000,000	3,000,000
3		1,000,000	4,000,000
4		1,000,000	5,000,000
5		500,000	5,500,000

信用残高